

⑮府屋一県境（国道7号）	
県境付近の住民の生活の足を確保することを考慮したエリア	
○延 長：南北方向：約8km ○人口世帯：約1,500人（高齢化率：35.1%）、約600世帯 ○集落数：7 ○高校生学生数：約40人 ○市町村名：村上市、鶴岡市	
	
項 目	
■エリア内の主な施設等	【医療】 山北徳洲会病院 【学校】 小学校1校(さんぼく北) 中学校1校(山北) 【商業】 エノモト山北店、イオンタウンあつみショッピングセンター（鶴岡市） 【行政】 山北支所、山北地区公民館、山北総合体育館 他
■既存交通体系	【A スクールバス】 通年運行：伊呉野、中浜 【B その他のバス】 ○山北徳洲会病院送迎バス 【C 鉄道】 ○J R羽越本線（府屋駅）1駅 ・1日の本数…上り15本、下り15本（うち特急はそれぞれ8本ずつ） ※臨時列車は含まれない ・駅利用者数…145人／日(平均) ・始発…上り6:33発→新潟行(特急)、下り6:41発→酒田行 ・最終…上り21:13発→村上行、下り22:45発→鼠ヶ関行
■課題および課題解決に向けた方策・取り組み試案	<エリアの特性> ・集落は海岸沿い、国道7号沿いに点在している。
	<エリアの課題> ・路線バスサービスの無い集落の存在。 ・羽越本線の列車本数が少なく、かつ利用しづらいダイヤ設定となっている。
	<課題解決に向けた方策（案）> ○県境住民の生活の足の確保。 ○移動目的に沿った利便性の良い運行ダイヤの設定。 ○J Rでの移動と同レベルのバスサービスの提供（ J Rの補完としての位置づけ）
	<取り組み試案> ■府屋～県境間を連絡する定時定路線型バスの運行。 ■デマンド方式：経路から離れた集落については、住民ニーズを踏まえ、サービス水準（運行する曜日や1週間あたりの運行頻度）を設定し運行する。 ■スクールバスの混乗化、間合い利用による有効活用を検討。
□連携すべきエリア	⑪、⑫

⑮府屋一県境（国道7号）現況課題図

